様式1

令和 5 年度　学校評価表

学校教育目標	「夢や志に向かって挑戦する生徒の育成」

a　ミッション	「コミュニティ・スクールを基盤とした『向東の対話』を活かした深い学びの創造」	a　ビジョン	「学校と地域が協働し，子供の未来を拓く学校」

尾道市立向東中学校

評価計画						自己評価						学校関係者評価				改善計画
	b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月 g 達成度	1月 g 達成度	h 達成度	i 評価	総合評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価 イ	ロ	ハ	l コメント	m 改善案
学力の向上	主体的に学び続ける生徒の育成	主体性を育む道徳教育と確かな学力の向上	（１）道徳の授業を通した対話的な学びの深化 ① 対話の充実 ・対話方法の多様化 ※生徒どうしの対話，教材との対話，自己内対話など，意図を持って対話を仕組む ② 自己内対話の充実 ・自分事として考える時間	○生徒アンケート 「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができている。」に肯定的に答える生徒の割合 R4　９３％	95%											
			（２） 各教科における対話的な学びの充実 ① 対話的な授業の充実 ・個人の考えを持つ時間 ・意見を出し合う時間 ・話し合いの時間 ・共有する時間	○教員アンケート 「対話的な学びが，学力の向上や心の成長につながっている。」に肯定的に答える教師の割合	90%											
			② 学び合い，教え合いの時間の充実 ・共感的人間関係を基盤とした，人間関係作り	○ 学力調査 １２月の学力調査で，全国平均を１００としたときの基本問題の正答率 正答率÷全国平均×１００	100%											
生徒指導の充実	心身ともに成長しようとする生徒の育成	互いに尊重し合い，協働的に学び合える関係を充実する中でリーダーの育成を図る	①互いに尊重し合い，協働的に学び合える関係の構築の充実 良さや頑張りを認め合い，協力して高め合うことができる関係を道徳教育で構築する。	生徒アンケート 「互いの良さや頑張りを認め合い，仲間と協力して高め合うことができている」の肯定的回答が８５％以上	85%											
			②リーダーの育成の充実 リーダーを中心とした生徒主体の活動を活性化させる。	教職員アンケート 「リーダーを中心とした生徒主体の活動が充実している」の肯定的回答が９０％以上	90%											
信頼される学校づくり	地域や社会に貢献できる生徒の育成	保護者への情報発信を工夫するとともに時代に即した働き方を推進する	（１）情報発信の充実 ○保護者との連携を密に，きめ細やかに即時対応を行う。 ① 些細なサインも見逃さず，問題発生時に即時対応する。 ② 心配事がある時に電話連絡及び直接連携をする。	○ 保護者アンケート 「心配事がある時学校に相談することができる」と答える保護者の割合	95%											
			○コドモンの積極的活用	○保護者アンケート コドモンの活用に対して肯定的評価の割合	95%											
			（２）時代に即した働き方の促進 ○時間を意識した働き方の推進	○月の時間外勤務が８０時間以下の割合	90%											
			○ライフワークバランスの推進	○教職員アンケート「計画的に仕事に取り組んでいる」肯定的評価の割合	80%											

【自己評価　評価】
A：１００≦（目標達成）　B：８０≦（ほぼ達成）＜１００　C：６０≦（もう少し）＜８０
D：（できていない）＜６０

【外部評価】　イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。　ハ：わからない。